

2008年12月18日

媒体関係者各位

国際自動車通信技術展運営事務局
〒104-0061 東京都中央区銀座6-13-16
(株)ジェムコ・コーオペレーションズ内

第1回国際自動車通信技術展、来年6月開催へ

～次世代のモータリゼーションにおける新しいサービスとビジネスの創造をめざして～

国際自動車通信技術展実行委員会(委員長:伊藤知/日刊自動車新聞社 代表取締役社長)は、2009年6月30日(火)から7月2日(木)の3日間、幕張メッセにおいて第1回国際自動車通信技術展(以下:本展)を開催します。

本展は大容量化が進む自動車の「車内のデータ通信」と、ブロードバンド化が進む車外の「ワイヤレス通信」、「ロードサイドインフラの高付加価値化」などに関わるテクノロジーやサービスに着目し、この自動車通信の進化によって生み出される新しいビジネスに関わる幅広い関係者の交流の場を提供します。

これまで自動車業界、通信業界それぞれのコンベンションは数多く開催されて参りましたが、「自動車の通信」にフォーカスしたものはなく、本展が我が国初の企画となると考えております。

本展のコンセプト

1.様々なレイヤーの関係者が一堂に集う場

インフラやシステム、アプリケーションやソリューション、サービス提供にいたるまで様々なレイヤーで積層されている「自動車の通信」の関わる国内外の関係者が一堂に集う日本初のコンベンションです。

2.ビジネスやサービスを生み出す場

技術的な提案に偏らず、新しいビジネスやサービスを生み出すための情報交流を促進させて参ります。カンファレンスやアワードなどの併催企画もビジネスを主軸に、わかりやすいテーマ構成で展開して参ります。

開催概要

名称：第1回 国際自動車通信技術展
 1st Automotive Telecommunication Technology Tokyo
 副題：次世代のモータリゼーションにおける新しいサービスとビジネスの創造を目指して
 会期：2009年6月30日(火)～7月2日(木)
 会場：幕張メッセ(千葉市)

主催：国際自動車通信技術展実行委員会
 委員長 伊藤 知 (日刊自動車新聞社 代表取締役社長)
 ・日刊自動車新聞社
 ・アイティメディア(株) [ITmedia +D Mobile]
 ・(株) IRI コマース&テクノロジー [レスポンス]
 ・(株) オートマート・ネットワーク
 ・(株) ジェムコ・コーオペレーションズ



国際自動車通信技術展 実行委員長
 日刊自動車新聞社 代表取締役社長
 伊藤 知 (Satoru Ito)
日刊自動車新聞社は各自動車メーカーを主要株主に持つ自動車業界唯一の日刊専門紙。2009年2月に創立80周年を迎えます。

企画：国際自動車通信技術展企画委員会
 委員長 神尾 寿 (通信・ITSジャーナリスト)
 委員 園部 修 (ITmedia +D Mobile 編集長)
 委員 三浦 和也 (レスポンス 編集長)
 委員 高橋 賢治 (日刊自動車新聞社 広告局次長 第一部長 兼 第二部長)
 委員 貴堂 郁 (オートマートネットワーク 編集長)



国際自動車通信技術展 企画委員長
 通信・ITSジャーナリスト
 神尾 寿 (Hisashi Kamio)
モバイル通信とITSを中心として、技術やサービス、ビジネス、ユーザー文化の取材・執筆を専門とするジャーナリスト。2008年から、日本カー・オブ・ザ・イヤー (COTY) 選考委員、モバイル・プロジェクト・アワード選考委員をつとめています。

後援：行政機関、各国大使館などを予定

協賛：関連団体などを予定

事務局：国際自動車通信技術展運営事務局
 東京都中央区銀座6-13-16 (株) ジェムコ・コーオペレーションズ内
 Phone:03-5565-1642 Fax:03-5565-6909
 URL : <http://www.attt.jp/>

出展対象と来場対象

出展対象

通信・放送事業者
 サービス・コンテンツプロバイダ
 電機/電子部品メーカー
 自動車部品/用品メーカー
 システムインテグレーター
 設計・開発支援サービスサプライヤー
 通信機器メーカー/サプライヤー
 など



来場対象

自動車メーカー
 自動車部品/用品メーカー
 通信関連事業者
 デベロッパ/建設業
 駐車場/商業施設関係者
 道路/道路設備関連事業者
 官公庁/地方自治体
 研究機関/教育機関
 など

本展の特徴 = 充実した併催企画の実施

自動車と通信という様々な可能性を秘めたテーマを「新しいビジネスの創造」として、また「新たなサービス構築のために」、よりわかりやすく捉えていただくためにカンファレンスやテーマ展示をはじめ屋外で実施する体感コーナーなど併催企画を充実させています。

1.カンファレンス / プレゼンテーション

1-1：カンファレンス

「自動車の通信」に関わる国内・海外の最先端の情報を一堂に入手できる質の高いカンファレンスを展開します。

国際自動車通信技術展 カンファレンス案

	1日目		2日目		3日目	
10:00~	基調講演1 自動車メーカー 首脳		基調講演3 自動車メーカー テーマ テレマティクス		基調講演5 自動車メーカー テーマ ITS	
10:30~						
11:00~	基調講演2 通信キャリア 首脳		基調講演4 通信キャリア テーマ モジュール		基調講演6 通信キャリア テーマ インターネット	
11:30~						
12:00~	自動車・通信先端技術賞（仮）授賞式		カンファレンス	ワークショップ プレゼンテーション	カンファレンス	ワークショップ プレゼンテーション
12:30~	カンファレンス	ワークショップ プレゼンテーション				
13:00~	通信・インフラ系	①	カーシェアリング系	④	ITS系	⑦
13:30~						
14:00~	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
14:30~	通信・インフラ系	②	テレマティクス系	⑤	ASV系	⑧
15:00~						
15:30~	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
16:00~	放送・インフラ系	③	海外情報	⑥	インターネット系	⑨
16:30~						

1-2：会場内プレゼンテーション

各日午後には、来場者が気軽に立ち寄ることができるプレゼンコーナーを設置します。自動車通信の未来を各界のキーパーソンがパネルディスカッションします。

2.特別展示

自動車メーカーの取り組み

展示会場内に特別展示コーナーを設け、各自動車メーカーの協力によってクルマの先進性に関わる情報提供を実施する予定です。

3.テーマコーナー

3-1：EV・プラグインハイブリッドで変わるインフラと周辺ビジネス

各自動車メーカーのEV車両・プラグインハイブリッド車両とEVに関する設備などの展示と体験が出来るコーナーを設置します。ここでは実際にEVが搭載する数々の機能を実際に体験できたり、EV専用駐車場（パーク&チャージ）の活用方法などを紹介し、注目を集める充電インフラ等を中心として、新たなビジネスのきっかけとなるコーナー展開をします。

3-2：輸送通信ソリューション

運送業や旅客業などに関わる通信を活用した車両・機器についての展示とプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションでは様々な通信を活用した機器の導入事例・成功事例を紹介。また展示ではプロユースのソフトウェアや各種機器（ドライブレコーダー・アルコールインターロック・商用車テレマティクス・運行管理・スマートフォン等）の紹介や、ドクターカーや最新のタクシーなどの展示も行います。

3-3：大容量化するネットワークとセンシング

電子化が進み、ますます大容量化する自動車のデータ通信に関する展示を行います。安全性能や環境性能の向上をはじめ、より快適な車室内環境の創出のための様々な制御に用いられているネットワークとセンサーなどに関する情報展示です。

3-4：人とクルマ、クルマとクルマを繋げる近接通信

リモートキーや運転時に利用するハンズフリーのヘッドセットなど様々な近接通信が自動車に関わっています。今後もより便利に、快適なカーライフを進化させていくための近接通信に関する情報展示を行います。

3-5：ETC・DSRCの新市場

高速道路を通行するときに使用するだけでなく、様々なシチュエーションにも活かすことで新たなマーケットを創造します。

3-6：カーナビゲーションとテレマティクスの世界

テレマティクスを利用した最先端のカーナビゲーションの世界をわかりやすく伝える情報展示です。最新の地図情報の取得や、リアルな駐車場の満空情報の取得などをはじめ、ワイヤレス通信がナビゲーションにもたらす効果はきわめて大きいと言えます。また、気象情報や災害情報におけるプローブとしての役割もテレマティクスによって実現しています。

4.テクニカルツアー / 体験コーナー

4-1：ナビゲーショングランプリ

自動車メーカーやカーナビゲーションメーカーをはじめ、携帯コンテンツナビなどを対象にナビゲーションを利用した渋滞回避ラリーを実施。ナビゲーションと通信を駆使し、如何にクルマを効率よく目的地に到達できるかを競い、その年一番のナビゲーションを決めます。

4-2：体験コーナー

幕張メッセの広大なスペースを活用して、実車を用いた最先端の通信サービスなどの体験や、ASV技術などの体験ゾーンをはじめ、テクニカルツアーなども企画して参りたいと考えております。

5.自動車・通信先端技術賞

国際自動車通信技術展の開催に併せて、「自動車・通信先端技術賞」(仮)を創設し、下記のような部門で発売・市販化された商品やサービスなどについて表彰したいと考えております。

自動車・通信先端技術賞の部門案

- 環境
- 先端安全技術
- 快適
- イノベーション
- ベストバリュー
- ビジネスモデル
- コラボレーション
- パブリックモビリティ

など

お問い合わせ先

国際自動車通信技術展運営事務局

東京都中央区銀座6-13-16 (株) ジェムコ・コーオペレーションズ内

Phone:03-5565-1642 Fax:03-5565-6909

URL : <http://www.attt.jp/>

担当：松永 matsunaga@jemco.co.jp

貴媒体において掲載して頂きました際には上記事務局まで、掲載紙誌などご提供頂きたくご高配の程よろしくお願い申し上げます。